

# 三菱電機パッケージエアコン別売部品昇降フィルターボックス [PAC-CB81TB PAC-CB82TB PAC-CB83STB PAC-CB84STB] 取付・取扱説明書

部品端面・ファンや熱交換器のフィン  
表面を素手で触れないこと。



• けがのおそれあり。

接触禁止

## お願い

- 取付けは下記に記載しています取付要領に従って行ってください。
- 取付けは本体を吊込みになる前に行ってください。
- 昇降フィルターボックス吸込口面と壁面の距離は、500mm以上確保してください。

## 1. 構成部品

この別売部品には昇降フィルターボックス以外に下記部品が付属されていますので取付け前に確認してください。

① 5×10ネジ	② 取付けネジ	③ フィルター引掛け金具
		PS-150用 オイルフィルター用
6本 ※1	6本または10本 ※2	各1本 (計2本) ※3

- ※1 81TB・83STBの場合は1本余ります。
- ※2 81TB・83STBは6本、82TB・84STBは10本それぞれ付属されています。
- ※3 部品はオイルドレンパン下の梱包材内側にあります。

注1. フィルターは別途手配が必要です。フィルター組合せは下表の通りです。

昇降フィルターボックス形名	フィルター形名	
	PS-150用	オイルフィルター用
PAC-CB81TB, PAC-CB83STB	PAC-CB87TF	PAC-CB89UTF
PAC-CB82TB, PAC-CB84STB	PAC-CB88TF	PAC-CB90UTF

## 2. 取付要領

- 昇降するための機構部品で構成されています。取付け、据付けの際は落下、衝撃などをあたえないよう取扱いにはご注意ください。
- チェーンに足を引掛け、転倒するおそれがありますので、作業中は束ねるなどの処置をしてください。

### 1) 取付け

- 室内ユニットを開梱し図1のように室内ユニット本体を仮置きしてください。  
※サービスパネルのツマミネジに荷重がかからないように注意してください。
- 昇降フィルターボックスのカバーを1、2の順で外してください。(図2)
- 昇降フィルターボックスを付属の①5×10ネジにて本体に取付けてください。(図3)  
※81TB・83STBは5本、82TB・84STBは6本使用。
- カバー1、2を2.項と逆の順で取付けてください。

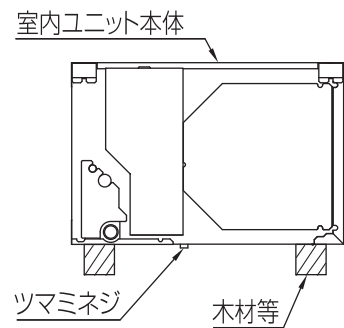


図1

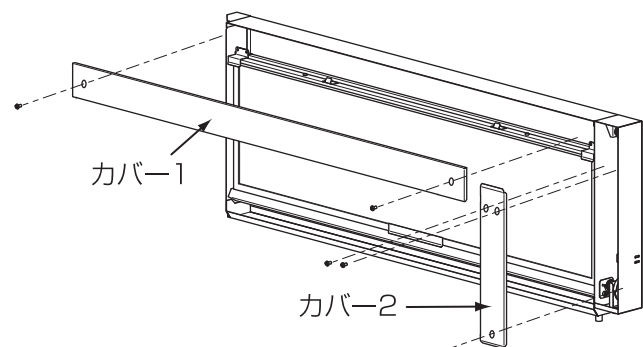


図2

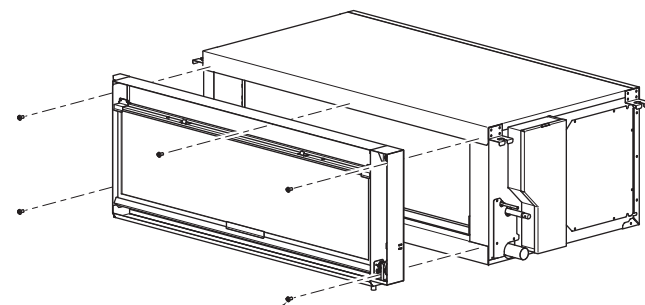


図3

### 2) フィルターの取付け

- フィルターと③フィルター引掛け金具を②取付けネジ (81TB, 83STBは2本、82TB, 84STBは4本使用) で固定してください。(図4, 図5)  
※③フィルター引掛け金具は、PS-150用とオイルフィルター用の2種類同梱されています。  
フィルターに応じて専用のものを取付けてください。  
(コの字状の幅の広いほうがオイルフィルター用です。)
- 1.で組立てたフィルターをフィルター取付け枠に②取付けネジ (81TB, 83STBは4本、82TB, 84STBは6本使用) で固定してください。(図4, 図5)  
※③フィルター引掛け金具を取付けた②取付けネジ頭は、外側になるようにしてください。
- ネジを付け忘れますとフィルター落下のおそれがあります。  
しっかりと取付けてください。(図5)
- 昇降動作に不具合がないこと、またフィルター収納状態でフィルターが確実に納まることを確認してください。

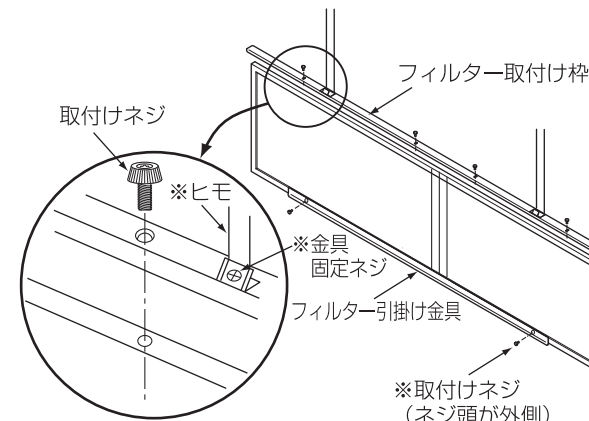


図4

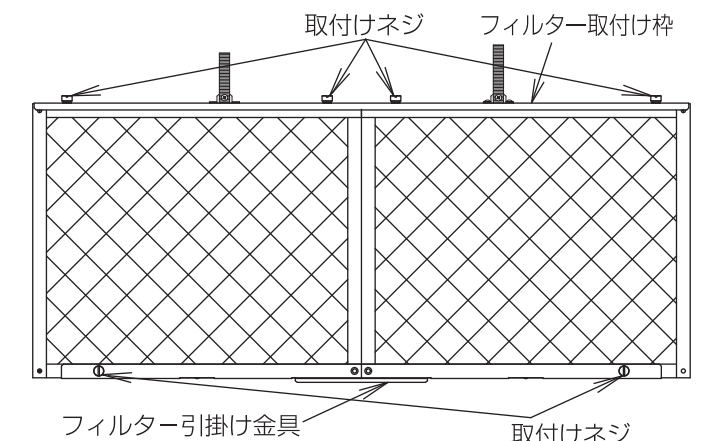


図5

### 3) 据付け

- ユニットの据付け高さに合わせ必要に応じチェーンの長さを調節してください。(図6)  
※チェーンの長さの調整はPAC-CB81・82TBのみとなります。
- オイルミスト雰囲気でご使用の場合は、昇降フィルターボックスの排油口(Rc1/4)に排油配管(現地手配)を接続し、タンク等(現地手配)で捕集してください。(図7)  
※オイル用ドレン配管は本体側のドレン配管と合流させないでください。

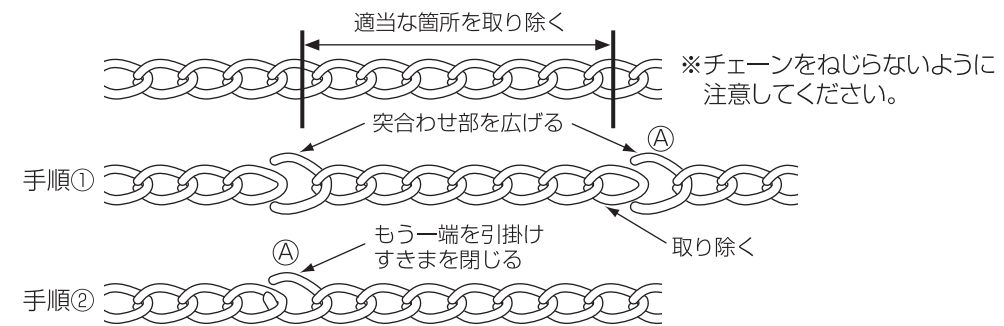


図6

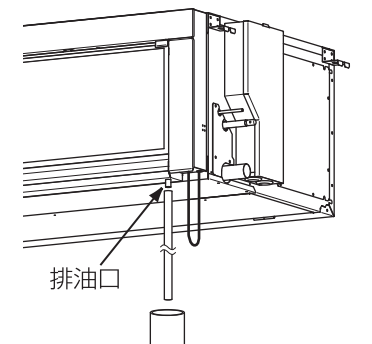


図7

裏面に続く

WT06618X03

### 3. 操作・取扱いについて

脚立に乗り、フィルターを手で外す様なことは禁止のこと。  
 ・けがのおそれあり。



フィルターの清掃・交換などの作業時はユニットの真下にいないこと。  
 ・フィルターの自重降下、落下によるけがのおそれあり。



フィルターの昇降はユニットを停止してから行うこと。  
 ・フィルター落下によるけがのおそれあり。  
 ・故障のおそれあり。



フィルターの清掃・交換などの作業時はチェーンを離さないこと。  
 ・フィルターの自重降下によるけがのおそれあり。



チェーンは強く引かないこと。  
 ・けが・故障のおそれあり。



**お願い** ●フィルターが枠から外れない等の昇降できない場合は、サービス会社に連絡してください。

#### 1) フィルター昇降方法

1. ユニットが停止していることを確認する。暖房時は余熱排除のため、停止操作後最大4分程ファン運転を継続します。完全にユニットが停止したことを確認してください。  
 ※フィルターが正常に昇降できず機構部が破損し、フィルター落下の原因になりますので、ユニット運転中は昇降作業を行わないでください。

2. フィルターを下降させる：本体に近い方のチェーンを引張る。(図8)  
 フィルターを上昇させる：吸込側のチェーンを引張る。(図8)

※フィルターの昇降はユニットが停止していることを確認した後に行ってください。

※チェーンを引くときには、強い力や過度な速度で引かないでください。

※フィルターが収納されると、ストッパーに当りチェーンがそれ以上引張れません。チェーンから手を離すとガイドにフィルターが乗り、ボックス真下からフィルターは見えない状態となります。(図9)

※フィルターボックスの真下で昇降作業を行わないでください。

※フィルターが自重で自然降下することがありますので昇降中はチェーンから手を放さないでください。

※チェーンがねじれた状態で昇降作業はしないでください。

必ず、ねじれを直し、作業を行ってください。

※昇降作業時およびフィルター収納後、無理な力で引張らないでください。チェーン切れや機構部が故障するおそれがあります。

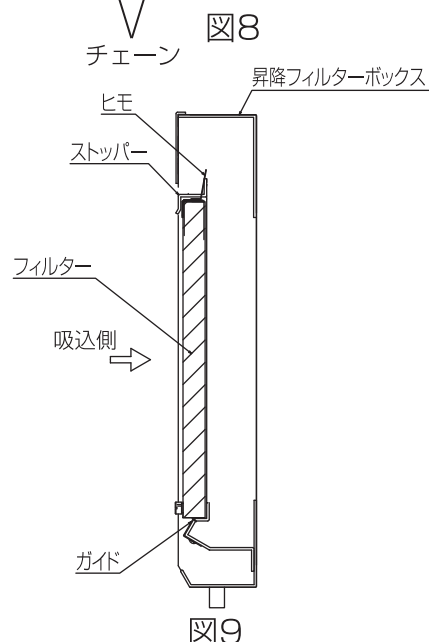
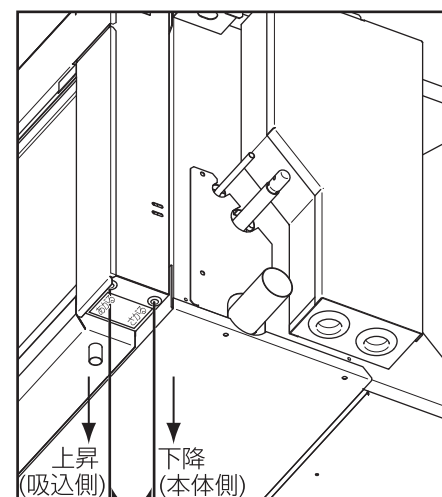
※フィルターを斜め方向から昇降させないでください。

正常に昇降または収納できない場合がありますので、フィルターはフィルターボックスの真下にし、昇降を行ってください。(図10)

※フィルター上昇時、“カチカチカチ”というラチェット動作音がしますが、異常ではありません。

※フィルター下降作業時、フィルターがフィルターボックスに引掛った場合、下降作業をやめ、一旦フィルターを巻戻し、再度下降作業を行ってください。

※昇降時以外はチェーンに引掛らないよう束ねるか、邪魔にならない場所に固定してください。



※昇降できない場合は、サービス会社へ連絡してください。無理な操作を続けると、機構部が破損し、フィルターが落下することがあります。  
 ※フィルター降下時、最下点以降の“さがる”操作を行わないでください。昇降動作が表示と逆転し、昇降操作ができなくなることがあります。

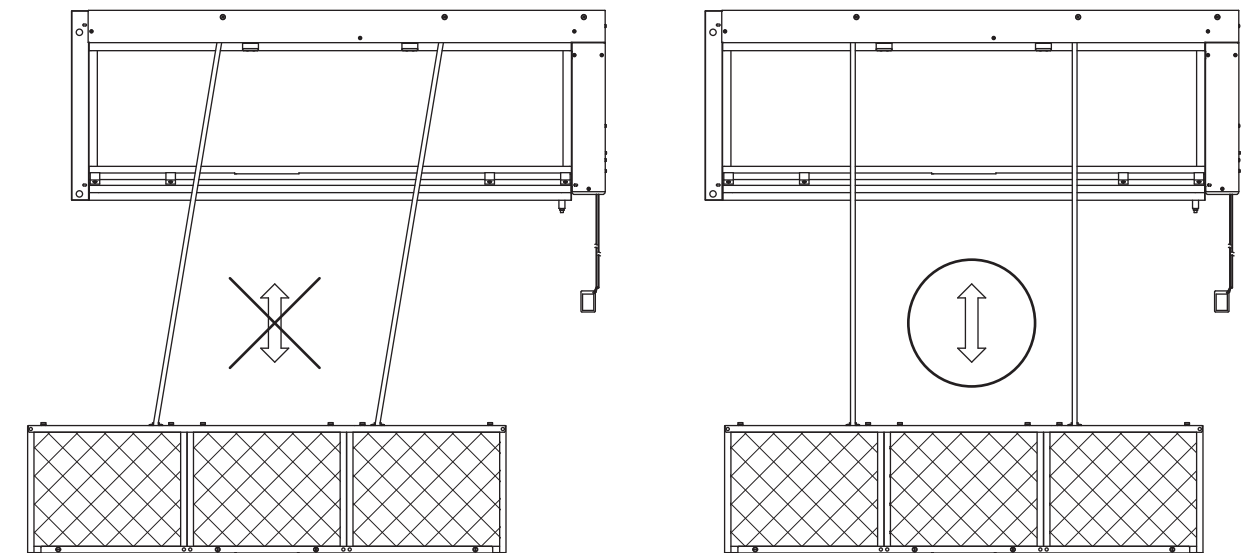


図10

#### 2) フィルター取外し方法

手袋等の保護具を着用し、作業を行ってください。

1. フィルター取付け枠にフィルターを固定している金具取付けネジ（81TB・83STBは4本、82TB・84STBは6本使用）を外してください。(図4)
2. フィルター引掛け金具にフィルターを固定している金具取付けネジ（81TB・83STBは2本、82TB・84STBは4本使用）を外してください。(図4)  
 ※ヒモを固定している金具固定ネジを外さないでください。  
 ※ヒモに傷をつけたり、火をつけたりしないでください。
3. フィルターの清掃時に取外した部品、ネジを付け忘れますとフィルター落下のおそれがあります。必ず元の位置にしっかりと取付けてください。(図5)

#### 3) フィルターの洗浄

フィルターは定期的に洗浄してください。

(使用環境にもよりますが、1回/週～月が目安です。)

※定期メンテナンスをおこたるとフィルターが目詰まりし、通過面が変形して昇降不良の原因となりますので注意してください。

また洗浄時もフィルターを押さえている網を変形させないでください。

取外したフィルターのホコリを掃除機で吸取るか、水洗いしてください。

汚れがひどい場合は、ぬるま湯もしくは中性洗剤を混ぜた水に浸け、汚れを落としてください。

すすぎは十分に行い、洗剤が残らないようにしてください。

水洗いしたときは日陰でよく乾かしてください。

(直射日光や直接火に当てて乾かさないでください。変形・変色することがあります。)

※フィルターを変形させたり、フィルター枠、網等でケガをしないよう十分注意し取扱いください。

#### 4) その他

オイルミスト雰囲気でご使用の場合、オイルパンに付着したオイルが硬化し、オイルドレン口を塞ぐおそれがありますので、使用状況に応じ点検および清掃を行ってください。

#### アフターサービス契約のおすすめ

※当社指定のサービス会社と保守契約(有料)いただければ、専門のサービスマンがお客様に代わって保守点検をいたします。万一の故障時も早期に発見し適切な処置を行うことができます。